

クロアチア情勢

主な出来事

2018年11月

内政

- 2日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、グラバル＝キタロビッチ大統領が12月にモロッコで開催予定の「国連移住グローバル・コンパクト」会合に出席しない旨発表したことを非難するコメントを発表。
- 4日、バンディッチ・ザグレブ市長は、プーチン露大統領から、クロアチア・露関係の友好関係強化に尽力したとして叙勲。
- 7日、シンチッチ「人間の壁」党首を代表とする数名の同党の議員団は、バンディッチ・ザグレブ市長（バンディッチ・ミラン365（BM365）党首）及びプフ議員（BM365党員）に対し、バンディッチ市長がプフ議員の兄弟の就職に便宜を図ったとして汚職・組織犯罪対策本部（USKOK）に刑事告発。
- 18日、第27回ブコバル市紛争犠牲者追悼式典が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議会議長、プレンコビッチ首相らが出席。
- 23日、議会利益相反委員会は、プレンコビッチ首相がポカズ外務・欧州問題省職員を私的な関係があるが故に駐英クロアチア大使に指名した件について調査開始。
- 29日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、偽装テキストメッセージ事件には一切関与していない旨プレスリリースを発出。

外交

- 2－6日、プレンコビッチ首相は、中国を訪問し、2日、李克強・中国国務院総理と会談、4日、杭州湾海上大橋を視察、5日、上海で開催された中国国際輸入博覧会（CIIE）に出席、6日、クロアチア観光局（HTZ）上海事務所の開設式に出席。
- 6日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ドブロブニクで開催された欧州評議会議員会議（PACE）に出席。
- 7日、プレンコビッチ首相は、ヘルシンキを訪問し、シピラ・フィンランド首相と会談。
- 9日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたEU貿易政策に関するEU外務理事会（FAC）に出席。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、仏で開催された第一次世界大戦終戦100周年記念式典に出席。

- 13－14日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ベルリンで開催された経済サミットに出席し、13日、メルケル独首相、ブルナビッチ・セルビア首相らと会談。
- 15－16日、ヤンドロコビッチ議会議長は、ローマを訪問し、15日、アルベルティ・カゼッラーティ伊上院議長と会談。
- 16－17日、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ハンガリーによるクロアチアのOECD加盟に対する反対は解除されたと発言。
- 17日、国際刑事警察機構（Interpol）の執行委員会は、ヘルナディMOL社CEOに対する国際逮捕手配書（赤手配書）の再発行を決定。
- 19日、タミーム・カタール首長は当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議会議長及びプレンコビッチ首相と会談。
- 19日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたFACに出席し、10月7日に実施された国政選挙後のボスニア・ヘルツェゴビナ（BH）情勢について、構成民族に憲法上保障されている平等性が實際上欠如していることに対し懸念を表明。
- 19－20日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、FAC及び欧州防衛庁（EDA）運営委員会に出席。20日、ポーランド主導のEU戦闘群に参加する覚書に署名。
- 21日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ストラスブールで開催された欧州評議会閣僚委員会に出席。クロアチアが議長国を務めた半年間の成果を発表、フィンランドに引継。
- 21日、メタ・アルバニア大統領は当国沿岸部のザダルを訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領と会談。
- 26日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたEU・アフリカ関係に関するFACに出席。
- 29日、プレンコビッチ首相は、ブラチスラバで開催された結束グループ（The Friends of Cohesion group）会合に出席。
- 30日、ホルバット経済・中小企業相及びパトルシェフ露農業相は、ザグレブで開催された経済及び科学技術協力に関する第8回クロアチア・ロシア政府間委員会に出席。

経済

- 8日、欧州委員会は2018年秋の経済見通しを公表。クロアチアの2018年の経済成長率は2.8%と、7月に公表された中間評価における見通し（2.6%）から引上げ。また、2019年の経済成長率は2.8%との見通し。
- 9日、クロアチア政府は、2019年政府予算案を閣議決定。2019年に導入予定の減税措置（一部の品目を対象とする付加価値税の引下げ等）、観光省を除く全ての省庁に対する増額等を反映。
- 9日、LNGクロアチア社は、LNGターミナル建設事業に係る浮体式貯蔵再ガス化施設（FSRU）に関する調達を実施。入札の結果、ノルウェー企業 Golar Power Limited を選定。

●15日、クロアチアに事務所を持つ6か国(米、伊、澳、加、独、諾)の商工会議所は、クロアチアのビジネス環境に関する評価レポートを公表。行政手続、法的安定性、税負担、労働力等に課題があると指摘。

●22日、ホルバット経済・中小企業大臣は、閣議後の記者会見で、政府は来月中にもMOL社からのINA株の購入に関する最終決定を行う旨の見通しを示すとともに、INA社の市場価値を評価するためのコンサルタントの選定に着手している旨言及。

●27日、経済・中小企業省は、ウリヤニク造船所から再建計画の概要を受理。同造船所では、今後2週間以内に欧州委員会に提出する再建計画を策定する見通しと発表。

●30日、プレンコビッチ首相は、最低賃金(ネット、月収)について、来年1月より現行の2752クーナから3000クーナに引き上げる方針を表明。

●30日、プレンコビッチ首相を議長とする、ユーロ導入に関する検討委員会の初会合を開催。同会合には、ブイッチ・クロアチア国立銀行総裁、マリッチ財務相らが出席。

主要経済指標

(2018年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(9月)	輸入総額(9月)	貿易赤字(9月)	工業生産高(10月) 対前年同月比	インフレ率(10月) 対前年同月比	失業率(登録制)(10月)
790.5億クーナ 106.5億ユーロ (4.1%)	1305.4億クーナ 175.9億ユーロ (6.3%)	514.9億クーナ 69.3億ユーロ (9.9%)	-2.4% (9月:-2.6%)	1.6% (9月:1.4%)	9.1% (9月:8.4%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。